

ご使用前には必ずこの説明書を全てお読みいただいた後、お取付・ご使用下さい。

I 本体・暗証番号変更方法

\*本体出荷時には、同封のプレートに記載したナンバーでセットされております。  
\*暗証番号プレートはシャックルにはめて同封しております。



本体のダイヤルを同封のプレートに記載したナンバーに合わせ BOX を開けて下さい。

開閉フタ裏側にあるレバーを矢印方向に動かします。  
※レバーはレバー固定ゴムを外してから動かします。ゴムは無くさないよう気を付けて下さい。

ダイヤルを設定したい番号に合わせして下さい。

レバーを元の位置に戻してレバー固定ゴムをハメ戻して暗証番号の変更は完了です。

**注意** 暗証番号を変更された場合は忘れないよう、記録を行い自己管理を責任を持って行って下さい。  
※通常の使用では、勝手に暗証番号が変わってしまう事はございません。暗証番号の管理は自己責任において管理を行って下さい。  
番号忘れの有無に関わらず本商品の解錠についての対応は一切出来ません。

やさしい設計

ダイヤルを上向きに回すと「0」の位置に止まりますので、夜間や目の不自由な方が番号を確認しにくい場合でもダイヤルが合わせやすくなっております。  
ダイヤルが大きくなっておりますので(当社比)手袋等していても扱いやすい設計になっております。



II 設置方法

シャックルを使用しての取付の場合 (単管等へ)

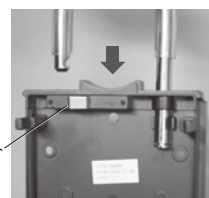
1 本体裏面に「ドアノブ取付用保護シート」を貼ってドア面のキズ防止を行います。



2 本体の暗証番号を合わせフタを開けて下さい。



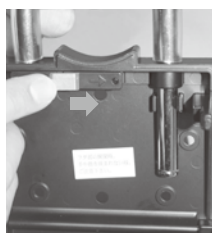
3 シャックルを図のように本体に「カチャ」と音がするまで差し込みます。



4 本体からシャックルがヌケ無いうち、固定用金具をセットします。  
※固定金具は強く押し入れます。その際、指等にケガをされないよう、十分に気を付けて下さい。  
※金具は後で外すことができます。



5 本体シャックルが正しくセット出来る事を確認してから、図のレバーを右に動かしながらシャックルをもう一度上に外して取り付ける場所に本体を装着します。



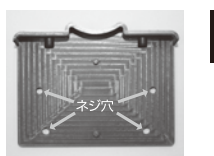
6 取付場所にセット完了後収納物を入れフタをシメて下さい。  
※最後にダイヤルをランダムに動かしてロック完了です。  
※取付場所より本体が外れないか確認して下さい。



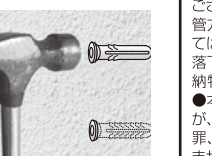
壁面に取付の場合

\*取付する壁面の基礎が弱い所(中空壁・石膏ボード等)への取付はおやめ下さい。

1 壁付用ラバーカバーを取付を行う壁面に合わせてネジ穴位置を決めて印を付けます。(上下を間違えないで下さい)壁面がコンクリートの場合は市販の径6.5mmの振動用ドリルにて4ヶ所のネジ穴に下穴を空けます。  
※壁面が木製等の場合は市販のキリ等の工具にて下穴を空けて下さい。



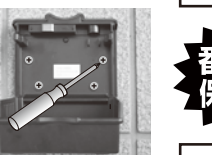
2 コンクリート壁の場合は付属のプラグを下穴に工具等を使用して打ち込みます。  
\*木製の壁面はプラグは使用しません。  
\*コンクリート壁へのドリルでの下穴空け作業は、印を付けた位置に正しく行って下さい。位置がズレたり、歪んだりすると正しく取り付けられない恐れがあります。



3 本体からシャックルを外して、壁付用ラバーカバーをセットします。  
※この際ラバーの突起が本体にはまるよう取り付けて下さい。



4 カバーをセットした本体を下穴を空けた壁面に合わせて付属のネジでしっかりと締めつけて固定します。最後に取付状態を確認して完了です。



\*壁付用ラバーカバーは色移りしにくい物を使用しておりますが、取付場所の環境・商品の経年劣化等の事情により必ずしも取付場所へ色移りしない事を保証は出来ませんのでご了承をお願いします。

ご使用上のご注意

- 分解、改造をしないで下さい。また、投げたり乱暴に扱わないで下さい。故障の原因となります。製品の修理はお受けできませんのでご注意下さい。●通常の使用状態で、暗証番号が勝手に変わってしまうことはございません。番号変更時の製品の扱い、変更された暗証番号の保管方法には十分ご注意下さい。番号のお忘れ、お問い合わせに関しましては、当社では一切対応できません。●取り付け、取り外しの際、製品の落下には十分ご注意下さい。取付時及び本体落下によるケガ、製品・収納物の破損、建物へのキズなどには一切の補償・弁償は行いません。●本品は鍵の受け渡しにおける便利さと防犯向上を意図した商品ですが、盗難防止に絶対的な錠ではございません。キー盗難等の事故、犯罪、トラブル等が発生したとしても当社は一切の補償、弁償等を行いません。ご理解頂きますようお願い致します。●湿気の多いところ、水のかかるところではご使用になれません。●防水加工はされておられませんので収納物等の保管には十分ご注意下さい。●収納物を保管後フタを閉めた時は、必ずダイヤルを回転させて(暗証番号以外の番号にする)保管して下さい。暗証番号のままフタをして収納物を保管していると第三者に番号が分かり不正解錠の原因や、いたずらで暗証番号を変更され開錠出来なくなる恐れがあります。●ひも等が付いた鍵を収納された場合、まれにひもが詰まってフタが開かない事があります。ご注意下さい。●商品改良の為、予告なく仕様を変更する場合があります。

番号の保管を!

- 同封のナンバープレートを下記のスペースにセロファンテープ等でしっかりと貼り付けて本説明書と一緒に大切に保管して下さい。
- 尚、暗証番号を変更された場合は下記スペースに油性マジック等で変更番号を記載しておくで管理に役立ちます。

